

お知らせします市の財政状況

市では、毎年6月と12月の2回、歳入歳出予算の執行状況や財産、地方債、一時借入金の現在高など、財政状況の概要を広報おわりあさひと市ホームページでお知らせしています。

このほかにも、市の財政に関する資料を作成し、市ホームページや市役所財政課で、随時公表していますのでぜひご覧ください。

(各金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計など一致しない場合があります。)

人口・世帯数・面積
(平成20年9月30日現在)

人口	81,037 人
世帯数	31,948 世帯
面積	21.03 Km ²

平成20年度上半期 予算執行状況 (平成20年9月30日現在)

(万円)				(万円)				
会計名	予算現額	収入済額	支出済額	区分	予算現額	執行済額		
一般会計	204 億 4,828	100 億 5,055	95 億 1,109	収益的	収入	14 億 7,120	6 億 9,491	
					支出	14 億 7,120	4 億 1,028	
特別会計	国民健康保険	71 億 2,330	30 億 6,873	29 億 5,621	資本的	収入	1 億 7,190	4,192
	土地取得	1 億 2,300	2,358	2,358		支出	7 億 1,945	9,342
	緑ヶ丘汚水処理事業	3,791	1,414	860				
	旭平和墓園事業	4,811	2,855	2,052				
	公共下水道事業	27 億 422	10 億 1,605	8 億 3,898				
	老人保健	9 億 722	4 億 2,373	5 億 3,818				
	介護保険	32 億 9,136	15 億 2,659	12 億 5,099				
	後期高齢者医療	6 億 4,200	2 億 4,054	1 億 2,142				
合計	353 億 2,541	163 億 9,245	152 億 6,956					

平成19年度 決算状況

一般会計

平成19年度の一般会計の決算状況は、

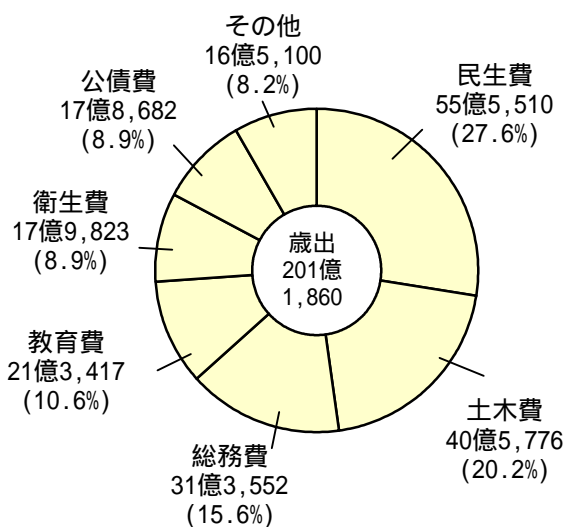
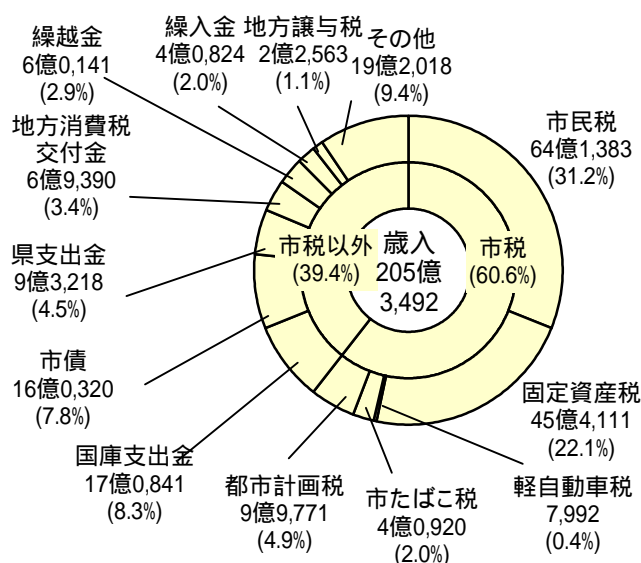
(歳入) 205億3,492万円

(歳出) 201億1,860万円

となっており、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度に繰り越す事業に充てる財源5,653万円を差し引いた実質収支は、3億5,979万円の黒字となりました。

年度別実質収支の推移 (万円)

年度	実質収支
平成17年度	4億6,927
平成18年度	5億4,353
平成19年度	3億5,979



特別会計

(万円)

会計名	予算現額	歳入総額	歳出総額	翌年度繰越額	実質収支
国民健康保険	69億 196	67億 5,819	67億 161	0	5,658
土地取得	1億 4,300	6,696	6,696	0	0
緑ヶ丘汚水処理事業	3,319	3,306	3,065	0	241
旭平和墓園事業	4,948	4,846	4,735	0	111
公共下水道事業	28億 621	28億 3,510	27億 1,588	0	1億 1,922
老人保健	53億 2,903	49億 1,445	49億 7,956	0	6,511
介護保険	31億 4,236	31億 8,887	30億 8,133	0	1億 754

企業(水道事業)会計 (万円)

区分	予算現額	決算額
収益的	収入 14億 7,368	14億 4,802
	支出 14億 7,368	13億 9,035
資本的	収入 1億 6,723	1億 3,020
	支出 4億 3,811	3億 5,721
	資本的収支不足額	2億 2,701

総収益・総費用の年度別経営成績 (万円)

年度	総収益	総費用	純利益
平成17年度	14億 374	13億 5,186	5,188
平成18年度	13億 8,914	13億 3,377	5,537
平成19年度	13億 8,060	13億 2,861	5,199

消費税及び地方消費税は含んでいません。

都市計画税の充当状況

(万円)

事業名	事業費	充当額	事業名	事業費	充当額
公共下水道事業	9億 6,000	5億 7,129	公園事業	6億 6,300	292
土地区画整理事業	6億 6,875	3億 3,443	公債費	9,112	5,423
街路事業	9,375	3,484	合計	24億 7,662	9億 9,771

財産(土地・建物・基金)の増減の状況

(土地・建物 m²、基金 万円)

区分	平成18年度末 現在高	平成19年度		平成19年度末 現在高	管理の状況		
		増加・積立分	減少・取崩分		現金・預金	土地	
土地	3,662,875.11	12,963.00	6,352.82	3,669,485.29			
建物	199,128.61	4,956.46	681.00	203,404.07			
基金	財政調整	7億 9,095	2億 7,336	1億 5,000	9億 1,431	9億 1,431	0
	減債	1,100	4	0	1,104	1,104	0
	その他特定目的	16億 6,510	4億 423	2億 1,864	18億 5,069	18億 5,069	0
	土地開発	3億 67	18	0	3億 85	7,716	2億 2,369
	合計	27億 6,772	6億 7,781	3億 6,864	30億 7,689	28億 5,320	2億 2,369

地方債(長期借入金)の増減の状況

(万円)

区分	平成18年度末 現在高	平成19年度		平成19年度末 現在高
		借入額	償還(元金)額	
一般会計	168億 6,281	16億 320	14億 5,878	170億 723
特別会計	土地取得	1億 3,200	0	6,475
	旭平和墓園事業	7,395	0	3,697
	公共下水道事業	106億 2,865	10億 1,230	14億 4,455
	水道事業	19億 4,830	0	1億 909
合計	296億 4,571	26億 1,550	31億 1,414	291億 4,707

一時借入金(短期借入金)の状況

一般会計、特別会計とも、平成19年度中の一時借入金の借り入れはありませんでした。

地方債の年度別償還予定額(元金・利子)の状況(万円)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
普通会計()	18億 9,012	18億 3,488	17億 6,732
公共下水道事業	9億 3,927	9億 2,313	8億 6,272
水道事業	4億 309	1億 4,892	1億 4,892

年度別償還予定額は、今後の地方債償還額の目安として算出しているもので、実際の償還額は、今後の借入・繰上償還などの状況により変動します。

一般会計、土地取得特別会計、旭平和墓園事業特別会計の償還予定額の合計額を記載しています。

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』に基づく 健全化判断比率等をお知らせします。

自治体の財政状況を分かりやすく判定するために、平成19年度決算から新しい財政指標が導入されました。

この新しい財政指標は、平成20年4月に一部施行された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)』に基づく健全化判断比率と公営企業の資金不足比率と呼ばれる指標で、この指標が一定の基準(早期健全化基準・経営健全化基準と財政再生基準)を超えた場合には、その比率に応じて、財政の早期健全化や公営企業の経営健全化、財政の再生に向けた取り組みを行うこととなります。

平成19年度決算に基づく尾張旭市の健全化判断比率と公営企業の資金不足比率の状況についてお知らせします。(いずれの比率も早期健全化基準等を下回っています。)

尾張旭市の健全化判断比率(平成19年度決算)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
尾張旭市の健全化判断比率	- %	- %	9.3 %	75.7 %
早期健全化基準	12.90 %	17.90 %	25.0 %	350.0 %
財政再生基準	20.00 %	40.00 %	35.0 %	

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字額がないため「- %」で表示しています。

なお、実質収支は3.6億円(2.67%)の黒字、連結実質収支は18.3億円(13.48%)の黒字となりました。

尾張旭市の公営企業の資金不足比率(平成19年度決算)

	水道事業	公共下水道事業
尾張旭市の公営企業の資金不足比率	- %	- %
経営健全化基準	20.0 %	20.0 %

資金不足比率は、資金不足額がないため「- %」で表示しています。

なお、水道事業は12.5億円(95.1%)の資金剰余、公共下水道事業は1.2億円(20.3%)の資金剰余となりました。

(参考)近隣市町等の健全化判断比率の状況

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
名古屋市	- %	- %	14.1 %	230.4 %
瀬戸市	- %	- %	7.6 %	71.2 %
長久手町	- %	- %	2.6 %	- %
日進市	- %	- %	9.7 %	31.9 %
東郷町	- %	- %	7.5 %	58.9 %
豊明市	- %	- %	7.8 %	30.1 %
全国市区町村平均	- %	- %	12.3 %	110.4 %

各市町の比率は、平成20年9月に総務省が発表した速報値で、今後変動する場合があります。

健全化判断比率の概要

指標の名称	指標の概要	指標に算入される尾張旭市の数値
実質赤字比率	福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計等の赤字額を、市税等の財源の規模と比較して指標化し、財政運営の深刻度を示します。（家計に例えると、1世帯の1年間の収入と支出の結果が、赤字だったのか黒字だったのかを示します。）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計等の実質収支は、一般会計が3億5,979万円の黒字、土地取得特別会計が収支差額0円、緑ヶ丘污水处理事業特別会計が242万円の黒字、旭平和墓園事業特別会計が111万円の黒字でした。 ・市税等の財源の規模（標準財政規模）は、135億6,602万円でした。
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字と黒字を合算した赤字額を、市税等の財源の規模と比較して指標化し、その団体全体の資金の不足の程度を把握し、財政運営の深刻度を示します。（家計に例えると、生計をともにする世帯（2世帯住宅など）の合計で、1年間の収入と支出の結果が赤字だったのか黒字だったのかを示します。）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計等以外の会計の実質収支は、国民健康保険特別会計が5,658万円の黒字、介護保険特別会計が1億754万円の黒字、老人保健特別会計が6,511万円の赤字、公営企業の資金不足・剰余額は、水道事業会計が12億4,799万円の資金剰余（黒字）、公共下水道事業特別会計が1億1,922万円の資金剰余（黒字）でした。 ・市税等の財源の規模（標準財政規模）は、実質赤字比率と同額です。
実質公債費比率	借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を判定します。（家計に例えると、生計をともにする世帯で、1年間の支出のうち住宅取得や自動車購入のための借入金の返済額が、どの位の割合であったかを示します。）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度の場合で、一般会計等の借入金（元金）の返済額13億3,821万円のほか、水道事業の借入金返済額のうち207万円、公共下水道事業の返済額のうち7億7,445万円、公立陶生病院組合など一部事務組合の返済額のうち2億4,211万円を借入金の返済額として比率を算出しています。 ・比率は平成17～19年度の3年平均です。
将来負担比率	団体の一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高と、その支払いに充てることのできる基金等の残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを判定します。（家計に例えると、生計をともにする世帯で、住宅取得や自動車購入などの借入金の今後の返済見込額と貯金などの状況をもとに、将来の負担がどの位の割合になるのかを示します。）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計等の借入金返済予定額171億1,146万円と水道事業と公共下水道事業の借入金負担予定額81億3,472万円、一部事務組合の借入金負担予定額17億4,075万円、職員退職金の負担見込額22億8,776万円、尾張旭市土地開発公社が保有する土地の購入予定額38億7,656万円の合計331億5,124万円（将来負担額）から、基金（貯金）残高28億5,319万円と、都市計画税などの歳入予定額53億2,397万円、地方交付税の基準財政需要額算入見込額156億8,500万円の合計238億6,216万円（充当可能財源）を控除した額により比率を算出しています。